



# GTR法によって治療した 20年経過の症例報告


平成23年度埼玉県歯科医学大会

平成24年2月26日（日）

於いて：浦和ロイヤルパインズホテル

浦和歯科医師会所属 吉武邦彦

共同発表者 山田夢子



- Long-Term Results of Guided Tissue Regeneration Therapy With Non-Resorbable and Bioabsorbable Barriers. IV. A Case Series of Infrabony Defects After 10 Years

- Bernadette Pretzl,\* Ti-Sun Kim,\* Rolf Holle,† and Peter Eickholz

- Journal of Periodontology

- August 2008, Vol. 79, No. 8, Pages 1491-1499

# 10年後の結果

**Table 3.**  
**INFRA at Baseline and CAL-V (mm)**

Subject	Polyglactin 910				ePTFE			
	INFRA	CAL-V			INFRA	CAL-V		
	Baseline	Baseline	12 Months	120 Months	Baseline	Baseline	12 Months	120 Months
1	4.0	6.5	4.0	5.0*	4.5	9.5	5.0	5.5
2	3.5†	7.0	4.0	3.0	1.2†	5.5	2.5	4.5
3	6.0	8.0	3.0	5.5‡	4.5‡	7.5	5.5	7.5
4	3.0	6.5	5.5	4.0*	4.0	8.0	5.0	6.5*
5	4.5	11.0	5.5	3.0	5.0	9.0	5.0	9.0‡
6	4.0	10.5	7.5	5.0	4.0	11.5	7.0	Lost
7	5.5	8.0	3.5	4.0	4.0	7.0	3.0	5.5‡
8	3.0	6.0	4.0	6.0 §	2.0	6.0	4.0	4.5
Mean ± SD	4.2 ± 1.1	7.9 ± 1.9	4.6 ± 1.5	4.4 ± 1.1	3.7 ± 1.3	8.0 ± 2.0	4.6 ± 1.4	6.0 ± 1.6
Change from baseline			3.3 ± 1.6 P = 0.001	3.5 ± 2.5 P = 0.005			3.4 ± 1.0 P < 0.001	1.5 ± 1.2 P = 0.018
Change 12 to 120 months				0.2 ± 2.0 P = 0.795				-1.7 ± 1.3 P = 0.011

\* Restoration placed or renewed.

† INFRA assessed radiographically.

‡ Attachment loss >2 mm from 12 to 120 months after surgery.

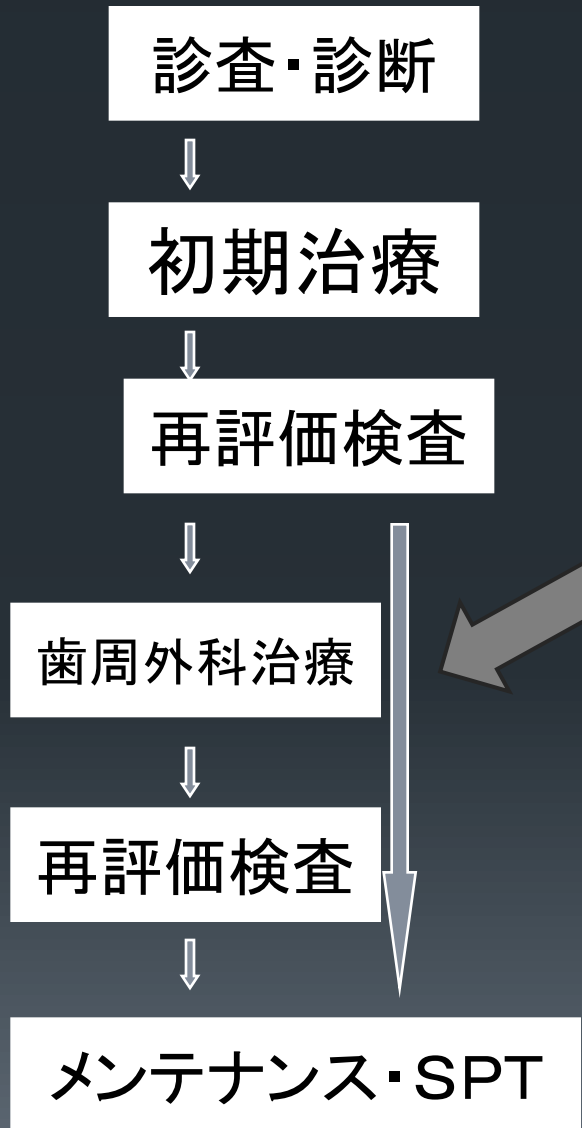
§ CAL-V 24 months after surgery, which led to a second regenerative procedure.

| Tooth lost from 60- to 120-month examination.

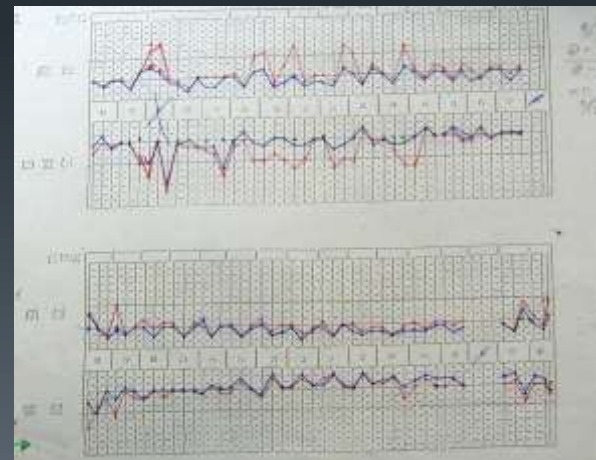
# GTR後の長期維持の条件

- 非喫煙
- メンテナンスへの協力度
- 口腔内の清掃状況
- 糖尿病などの全身疾患
- 部位特異性の考慮

# 歯周病の治療

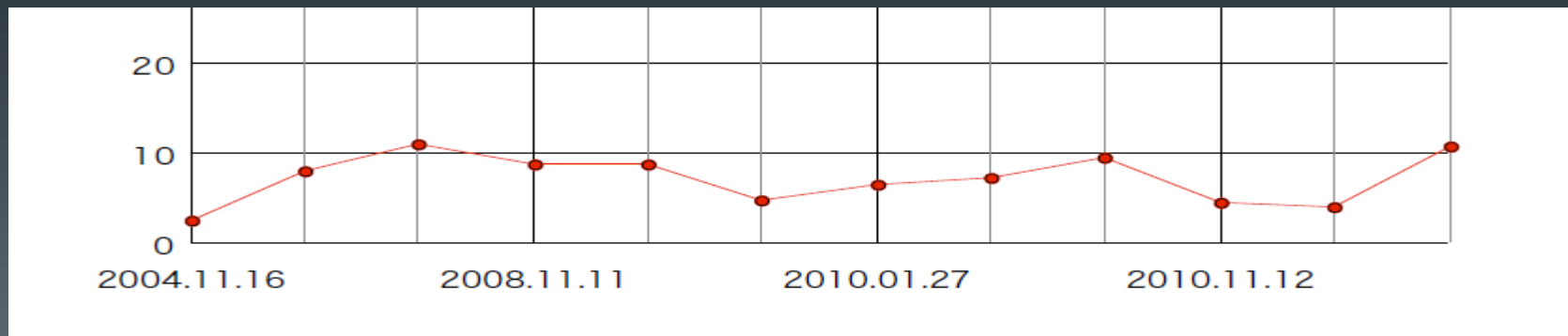


# GTR法



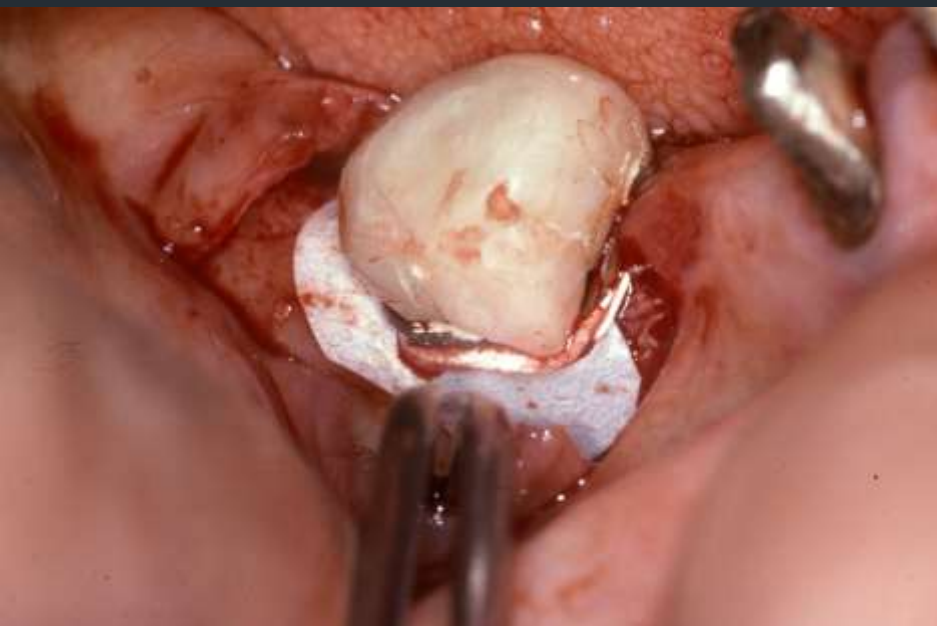
# 症例1

- 患者：41歳（手術時）女性
- 手術日：平成3年12月2日
- 処置歯：右下7
- 全身既往歴：特記事項なし
- 処置歯既往歴：歯肉が時々腫れる
- 直近のPCR



# 骨縁下欠損の状態



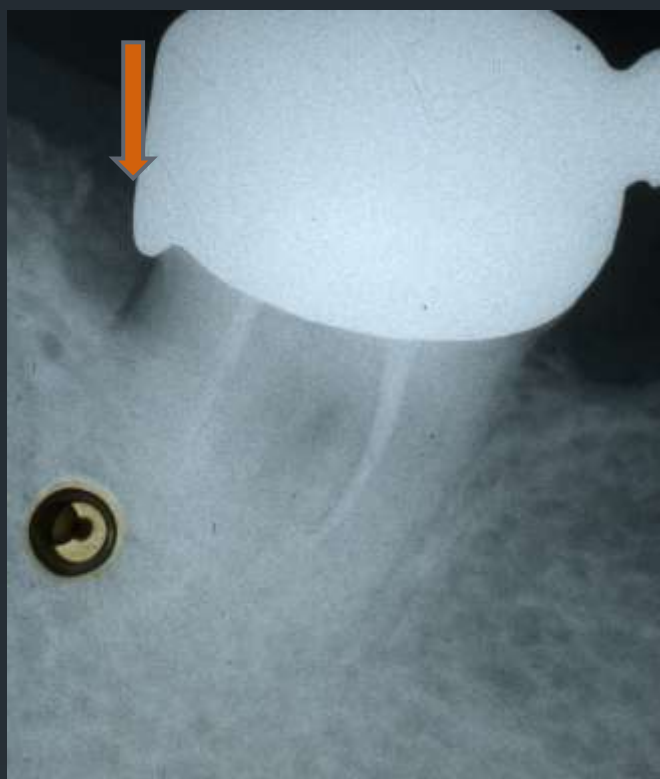


ゴアテックス膜の装着

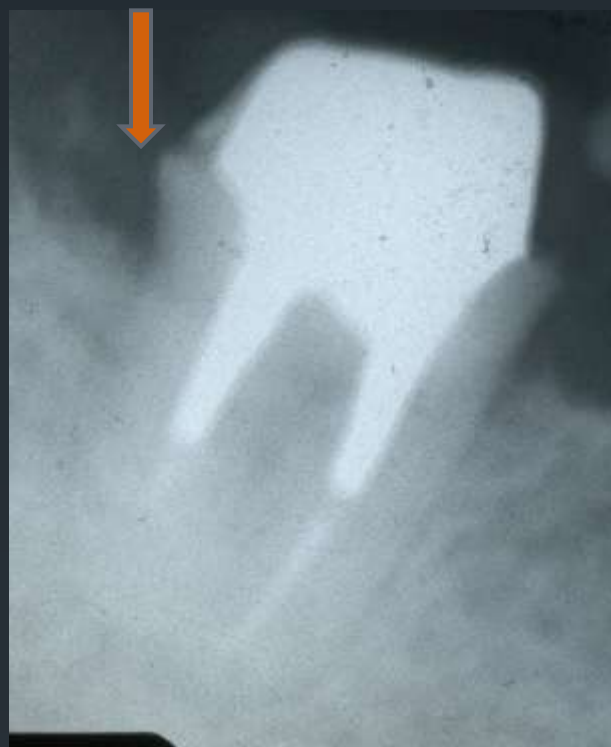


4ヶ月後の状態





術前



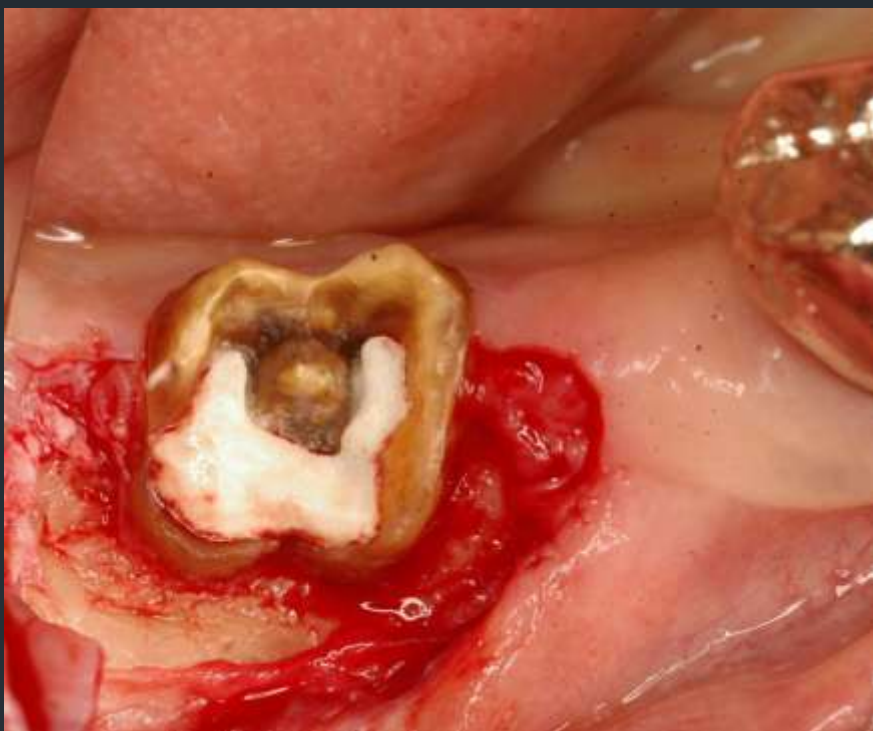
術後4ヶ月



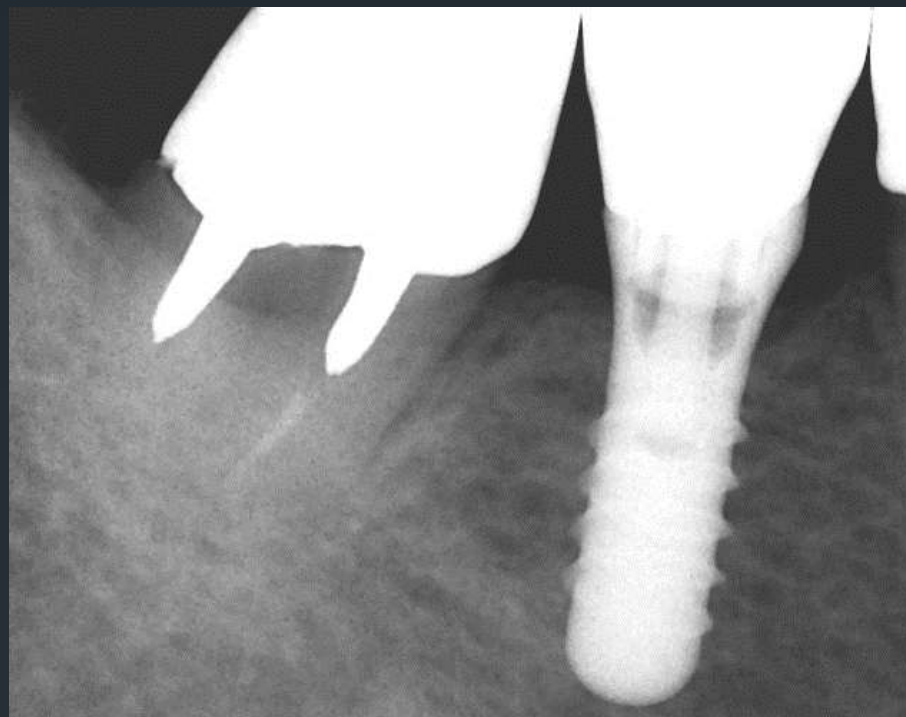
10年後



術後20年 歯肉縁下カリエス



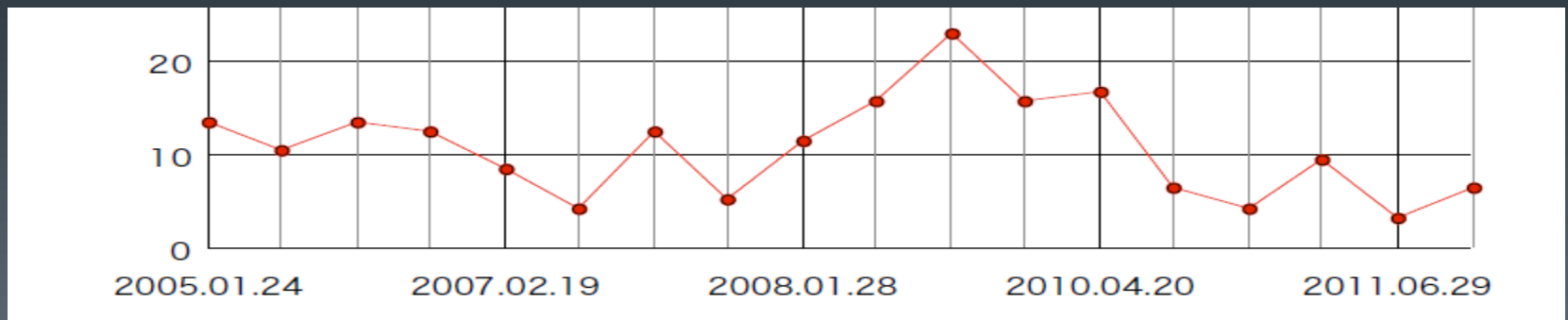
歯冠延長術実施

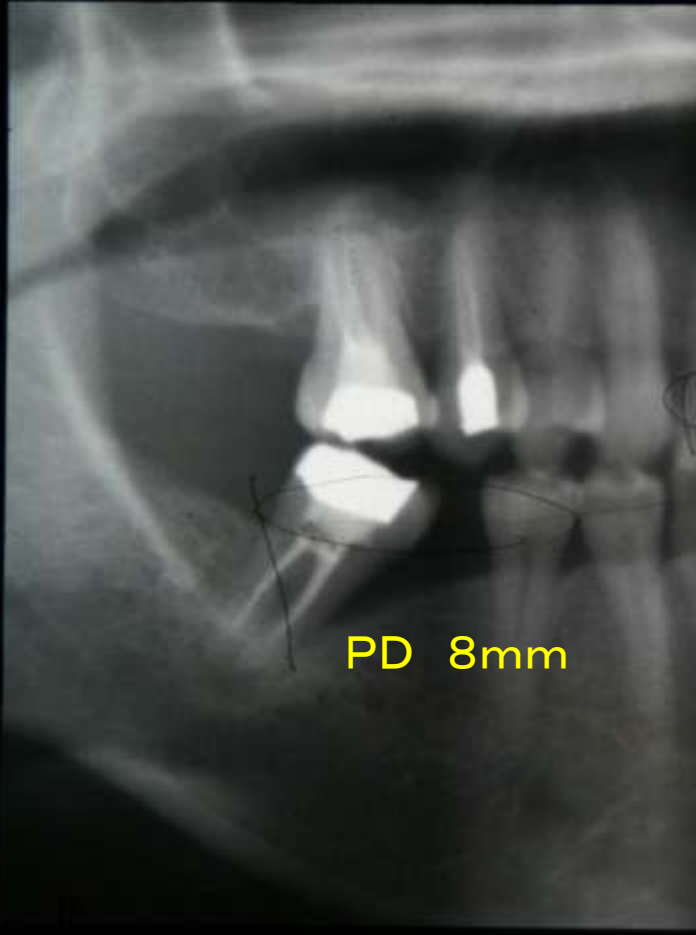
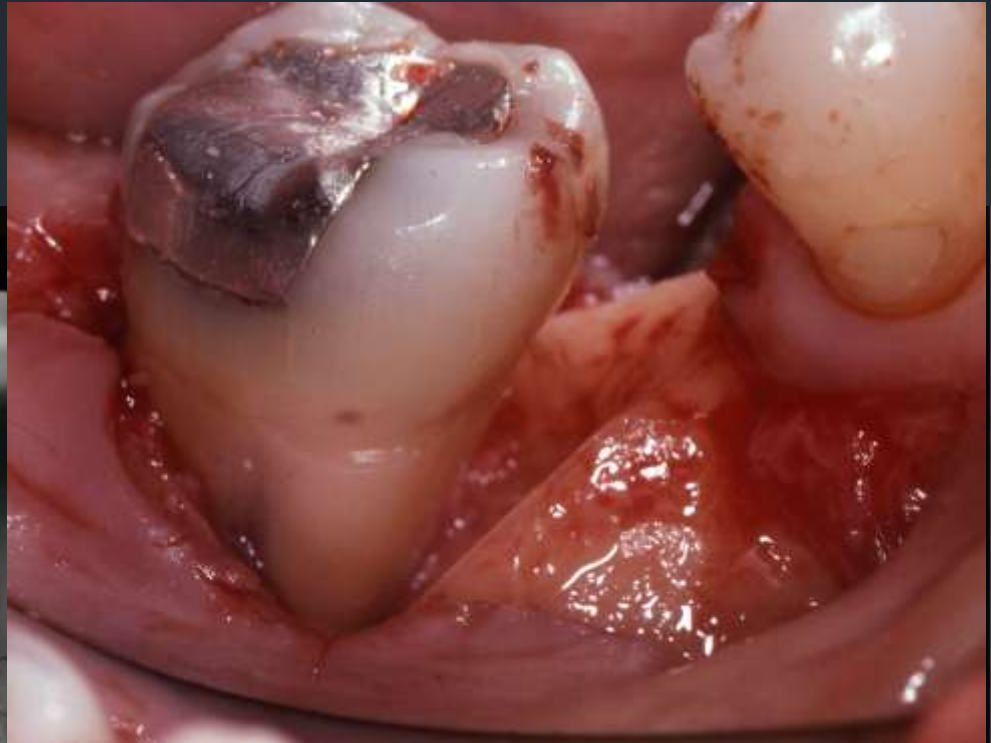


欠損部にインプラント挿入

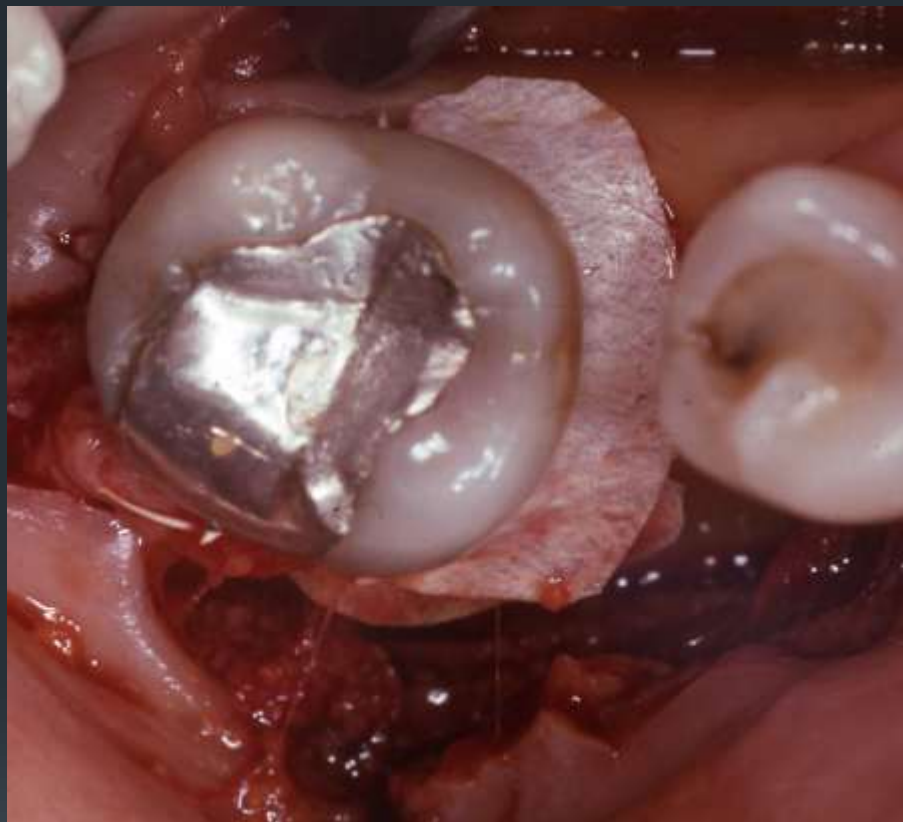
# 症例2

- 患者：46歳（手術時）女性
- 手術日：平成4年7月14日
- 処置歯：右下7
- 全身既往歴：特記事項なし
- 処置歯既往歴：歯肉が腫れてグラグラする
- 直近のPCR





PD 8mm



ゴアテックス膜の装着



5週後の除去した膜

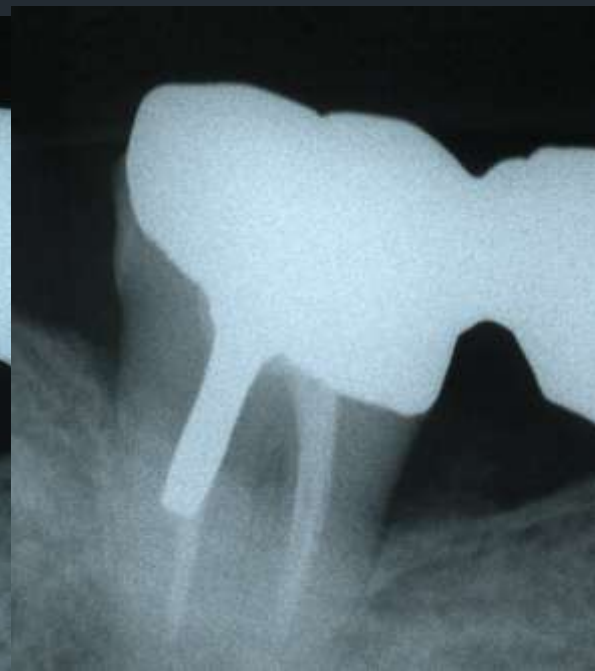


術直後



1年後

PD 3mm



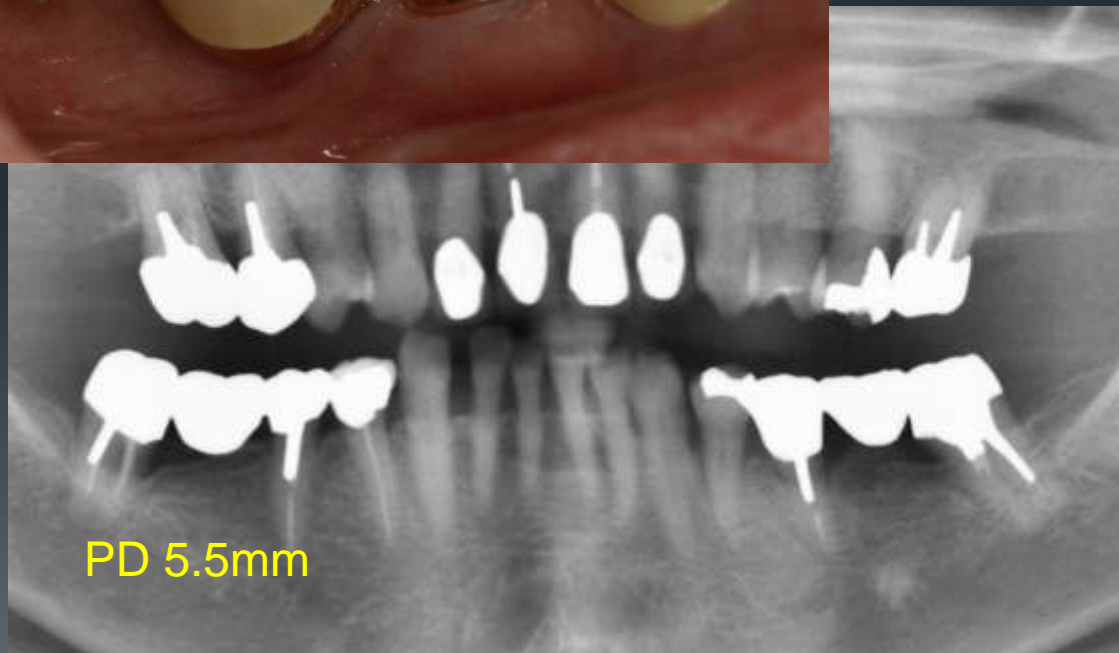
10年後

PD 3.5mm



初診時

20年後



PD 5.5mm



# 考察

- GTR法によって得られた新生付着組織を長期間維持することは可能である。
- 付着の長期安定には、患者のプラークコントロール、非喫煙、そして咬合の管理も含めたメンテナンスが重要である。
- そしてこれらは、歯周組織再生治療に限らず、う蝕を含めた歯牙歯周組織疾患のすべてに当てはまる。
- これにより、重度の歯周疾患に罹患していても、GTR法の適応症の選択が適切なら長期間の歯の保存は可能である。
- 特に大事なことは、メンテナンスを行いやすい口腔内環境を構築することと、患者の来院を継続させることである。

# 有細胞セメント質、無細胞セメント質



臨床面では1989年の、AAP.world workshopで述べられている「有細胞セメント質か無細胞セメント質であろうとも新生セメント質が形成され、歯周靭帯が埋入していれば、再生が起きていると考えられる。

安藤 修：裏づけのある歯周組織再生療法：  
クインテッセンス株式会社、2006